

新除草・調節剤

クロレートソーダ水溶剤

塩素酸塩除草剤

(取扱メーカー) 昭和電工株式会社

対象作物: 水稻刈取後

性状・作用特性: 本剤は、塩素酸ソーダを98.5%含む水溶剤である。

本剤は、茎葉処理剤で、非選択的に植物に作用する。稲刈取後のマツバイ・ミズガヤツリの越冬芽や塊茎の発生、生育が進まないうちに処理すると、根まで枯らすことができる。また、スズメノテッポウなどの越年生水田雑草にも、発生盛期に処理すると、発生を抑えることができる。

毒性: 人畜魚毒性は低く、急性経口毒性は、

$LD_{50} = 7,000 \text{ mg/Kg}$ (マウス)であり、魚毒性は、 $TLM(48 \text{ 時間}) = 10,400 \text{ PPM}$ (フナ)で、実用上では問題はない。

使用方法: ①稲刈取後、なるべく早い時期(マツバイは越冬芽形成前・ミズガヤツリは塊茎形成初期)に茎葉処理する。②10a当たり製品量で6~8Kgを80~100ℓの水に溶かし、対象雑草の茎葉に均一に散布する。

使用上の注意: ①湿田や降雨の予想されるときには使用をさけること。②早期栽培の一毛作田で使用するのに適している。

その他: 本剤には、水溶剤のほかに粉剤がある。粉剤の使用量は、製品量で10a当たり9~12Kgの散布が適量である。

植調協会だより

◎ 昭和45年度ミカン関係除草剤、生育調節剤試験成績検討会開催について

日時: 昭和46年1月22日(金)9.30~17.00

場所: 都道府県会館(601号室)

◎ 昭和45年度リンゴ・落葉果樹関係除草剤、生育調節剤試験成績検討会開催について

日時: 昭和46年1月23日(土)9.30~17.00

場所: 都道府県会館(601号室)

編集後記

あわただしい年の瀬を迎え、街をゆく人々の動きにも師走の形容があてはまる。

読者各位のご支援により、当誌の発刊も順調となり、第4巻第9号を発行する運びとなった。

ふりかえてみると化学工業会にとっては、本年は最悪の年であったかも知れない。このような事情を背景にしながらも、当誌の発刊に対し、絶大なるご支援をいただいた関係会社に対し、衷心より感謝の意を表する次第である。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和45年12月発行

第4巻第9号

¥70(送料35)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河田 党

発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都港区芝愛宕町1-3, 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番